

本大会の開始に先立ち プロアマ大会、記者会見を開催。

2月4日から始まる「レオパレス21ミャンマーオープン」の開催に先立ち、2月2日、3日の日程で、JGTO所属のプロゴルファー15名、ミャンマーを中心としたアセアン諸国で活動する経済人が参加するプロアマ大会、そしてアジアツアー主催による記者会見が開かれた。

プロアマ大会には、2015年日本ツアー賞金王の金庚泰(キムキョンテ)選手や、選手会長の宮里優作選手、そして前会長の池田勇太選手などが登場。豪華な選手陣が舞台に上がると、会場からは歓声が上がった。レセプションではJGTOの海老沢勝二会長や在ミャンマー日本大使の樋口建史氏、タイトルスポンサーのレオパレス21 深山英世社長がスピーチし、世代、年齢を問わず楽しめるスポーツであるゴルフを通じて日本とミャンマーの新たな架け橋とすることを提言した。



大会会場のロイヤルミンガラドンゴルフクラブ&カントリークラブでは、アジアンツアー、ツアーコミッショナーのチラ・ハーン氏によるスピーチと、前週の「*SMBC*シンガポールオープン」で優勝した宗永漢(ソンヨンハン)選手、金庚泰選手、地元ミャンマーのゾーゾーラット選手、スリランカのペレラミスン選手による会見が行われ、優勝に向けた熱い思いを語った。

